

## 産科医療補償制度 第 92 回原因分析委員会 議事要旨

日時：2019年9月3日（火） 17時00分～18時55分

場所：公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者（委員）：石川浩史、茨聡、上塘正人、北田淳子、楠田聡、佐藤昌司、  
下屋浩一郎、鈴木俊治、鈴木利廣、関沢明彦、豊田郁子、  
前田津紀夫、馬目裕子、宮澤潤、村越毅、吉田幸洋（敬称略）

### 議事概要：

#### 1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況について

○2019年8月末時点で累計2,421件の原因分析報告書が承認されたことや、報告書作成の迅速化・効率化の取組みにより2019年8月末時点の報告書の未送付件数が385件にまで減少し、報告書の作成期間を所期の目標である概ね1年に近づきつつあること等が報告された。

#### 2) 原因分析報告書全文版（マスキング版）の開示対応状況について

○2015年11月の開示方法の変更以降、2019年8月末までに、8件の原因分析報告書全文版（マスキング版）の利用申請があり、延べ1,076事例の報告書が開示されたこと等が報告された。

#### 3) 原因分析報告書要約版の公表状況について

○原因分析報告書要約版は、保護者や分娩機関等に対し公表についての意思確認を行い、不同意の意思表示があった事例を除いて、順次、本制度ホームページで公表されるが、2019年8月27日時点で1,650事例の要約版が公表されていること等が報告された。

#### 4) 臨床経過に関する医学的評価に用いる表現の見直しについて

○継続審議となっていた原因分析報告書の「臨床経過に関する医学的評価」における評価レベルの大括り化および表現の見直しについての修正案が審議され、了承された。

#### 5) 「別紙（要望書）」対応について

○2019年8月末までに90件の「別紙（要望書）」対応<sup>(※1)</sup>が実施されたこと、改善を求めた項目としては「胎児心拍数陣痛図の判読と対応」が最も多かったこと等が報告された。

○過去に「別紙（要望書）」で改善を求めた項目について、医学的に厳しい評価が繰り返され、2回目の「別紙（要望書）」対応が必要とされた場合の方策について審議され、大枠の方向性が整理された。

(※1) 同一分娩機関において複数事案目の事例が発生し、原因分析でも、これまでと同様の指摘が行われ、改善がみられない、または、同じような事例の発生が繰り返されるおそれがあると原因分析委員会が判断した場合、該当の分娩機関に対し「別紙（要望書）」を送付し、改善取組みとその報告を求めている。

以上